

地元の児童ら招き たむらボで見学会

大成ロテック

大成ロテックは、「たむらボ」の愛称で親しまれる大成建設グループ次世代技術実証センター／田村（福島県田村市）に地元の児童らを招き、施設の見学会を開いた＝写真。



地域交流や学習機会の提供が狙い。イベントには小学生24人が参加し、舗装の仕組みを学んだ。

参加者は道路を血管に例えた紹介や最新の舗装技術に熱心に耳を傾けながら、同社の事業内容と道路舗装の役割を学んだ。

舗装の耐久性を試験するテストコースでは、総重量42トンの大型トレーラー5台が無人走行する様子を見学した。実際の道路に長期間の交通荷重を与えることで、舗装の将来変化を短期間で確認できる仕組みや、自動運転技術にも触れ、子どもたちからは驚きの声が上がった。



※無断転載・複写不可